

「仮説生成AI」時代における科学者の再定義

—— 職能のボトルネックはどう移動するか ——



主要課題：「良いアイデア」の不足

AIによる仮説の供給過剰は、未検証のアイデアが溜まる「検証負債」を生みます。

新しい「知的分業」：Scientist-in-the-Loop



人間は「問い」と「価値」を定義する

- 研究目的の設定
- 倫理的判断
- 社会的な優先順位
- 人間にのみ帰属



科学者は「証拠の監査役」へ

AIのログやコードを監査し、信頼できる証拠へ変換する能力が中核職能となります。

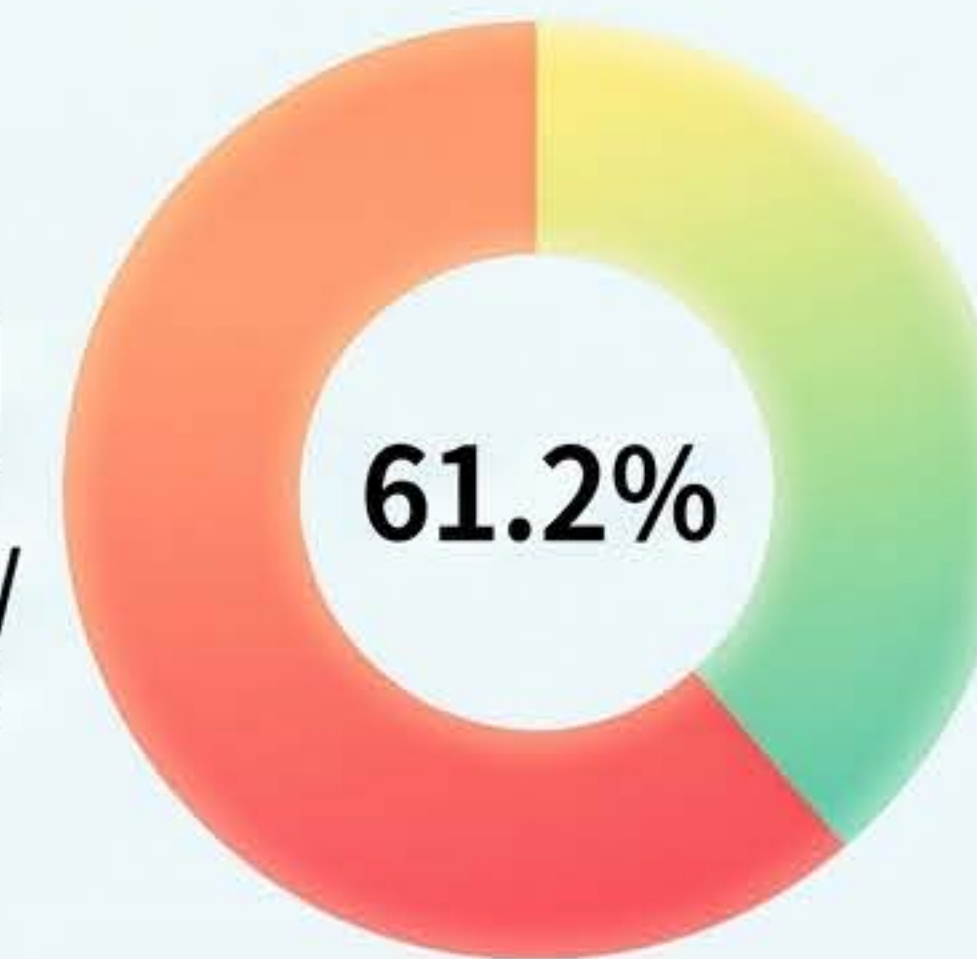


説明責任 (Accountability) の非移転性

Nature誌の方針通り、AIに学術的判断や結論の責任を移すことはできません。



未検証 / 誤仮証



回収率38.8%の壁

最先端AIでも霧易度が上がると正解仮説の回収度は低く、人間の監督が不可欠です。

主要課題：「検証すべき案」の選別